

## 癌化学療法輸液約束処方 多発性骨髄腫:MM 1

癌種 多発性骨髄腫  
レジメン名 MM 1 BOR

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	1クール期間
ベルケイド	ボルテゾミブ	BOR	1.3mg/m <sup>2</sup>	静注 皮下注	DAY1.8.15.22	35日間

### 【DAY 1,8,15,22】静注

① NS 100ml / 30分(ラインキープ用)

【側管】 ベルケイド mg / ワンショットIV

1Vを NS 3mLで溶解 → 1.0mg/mL

### 【DAY 1,8,15,22】皮下注

ベルケイド mg / IS

1Vを NS 1.2mLで溶解 → 2.5mg/mL

### <備考>

- ① 本レジメン(週1回投与)は 65歳以上を対象とする。(65歳以下は自家移植の対象となる)
- ② 80歳以上、ADLの悪い人は 1.0mg/m<sup>2</sup> に減量する。
- ③ 静注より皮下投与の方が 末梢神経障害が少ないとされる。
- ④ 骨髄抑制とウイルス感染に注意。(帯状疱疹:アシクロビルの予防投与可)
- ⑤ 肺障害、心障害あり。(サチュレーションモニター)
- ⑥ 腫瘍崩壊症候群は、1~2サイクル目に発現しやすい。
- ⑦ 皮膚症状は投与初期から用量依存的に発現する。

H26.11.11 作成